

日本の新型コロナウイルス感染症対策(途上国支援:概要)

令和3年4月
外務省国際協力局

基本的な考え方

グローバルな人の往来が経済活動を支えている現代社会において、感染症拡大防止対策は、それぞれの国や地域の取組だけでは不十分であり、**国際社会と連携して行うことが重要。**

- **新型コロナ対策のための医療体制(機材を含む)の整備・強化**
 - **中長期的な観点からの強靱な医療・保健システムの構築(過去の日本の支援も活用)**
- ⇒ 我が国への感染症の影響を最小化、海外に展開する日本企業の経済活動の下支え

支援概要

- 感染症拡大は多面的な脅威を伴う**人間の安全保障の危機**。二国間支援や国際機関を通じた支援を活用し、**保健・医療システムの脆弱な国に対する1,700億円(15.4億ドル)を超える医療・保健分野での途上国支援を実施中。**
- **アジア・大洋州を中心とする途上国の経済活動を支えるため、2年間で、最大5,000億円の緊急支援円借款を設立。**
- 本年1月に成立した**令和2年度第三次補正予算(外務省所管分)**に、主に**国際機関を通じた支援として、ワクチン・治療・診断供給支援(247億円)、新型コロナの影響緩和のための途上国支援(812億円)**を計上。国際社会や途上国のニーズを踏まえ、効果的に実施していく。

主な二国間支援

(相手国のニーズに応じたきめ細やかな支援を実施。)

- **感染症対策及び保健・医療システム強化等**
 - ・ 無償資金協力(関連機材の供与等)
 - ・ 技術協力(JICA)(能力構築支援等)
- **途上国の経済活動の維持・活性化・強靱化支援**
 - ・ 緊急支援円借款

相互補完



主な国際機関を通じた支援

(国際機関の専門的知見を生かした支援を実施。)

- **感染症対策及び保健・医療システム強化等**
 - ・ UNICEF、UNDP、UNHCR等
 - (能力構築支援、関連機材の供与等)
- **ワクチン・治療・診断の開発・供給支援**
 - ・ Gavi、グローバルファンド、Unitaid、CEPI等

日本の新型コロナウイルス感染症対策(主な二国間支援)

令和3年4月
外務省国際協力局

感染症対策及び保健・医療システム強化

- **無償資金協力(保健医療機材供与)(480億円)**
 - 保健・医療体制が脆弱な途上国に対し、X線撮影装置、サーモグラフィ、救急車などの**医療関連機材等の供与を通じた保健・医療体制強化のための支援**(海外企業展開支援も含む)
 - 途上国のニーズに迅速に対応し、感染症拡大を防止するため、かつてないスピードで実施。予算額全額について閣議決定済みであり、99か国と交換公文を締結済み。昨年7月末以降、機材が現地に随時到着。
- **JICAによる技術協力(15億円)**
 - 保健・医療体制が脆弱な途上国に対し、**中長期的な能力強化のための保健・医療システム強化や人材育成等の能力構築支援**
 - 45か国の現地カウンターパート機関と連携し、医療従事者の感染防御や施設内感染対策等の研修や検査機器・試薬及び医療従事者のための感染防護資機材供与を含む**体制整備支援等**を実施(予算額全額を調整済)。

供与された医療関連機材



除菌消毒引渡式(ラオス人民民主共和国)、吸引器、聴診器及び血圧計引渡式(カンジュラ共和国)



マーシャル諸島共和国に到着した聴診器及び血圧計、複数国に供与される予定のサーモグラフィ

途上国の経済活動の維持・活性化・強靱化支援

- **新型コロナ危機対応緊急支援円借款(2020年4月から2022年3月までの2年間で最大5,000億円)**
 - **アジア大洋州を中心とする開発途上国に対して、必要な経済対策等に要する資金を機動的に供給。**
 - **かつてないスピードで実施。**3月26日現在、フィリピン共和国(500億円)、インドネシア共和国(500億円)、バングラデシュ人民共和国(350億円)、インド(500億円)、モルディブ(50億円)、モンゴル(250億円)及びカンボジア(250億円)、パプアニューギニア(300億円)、ソロモン諸島(25億円)、モーリシャス(300億円)、フィジー(100億円)、ウズベキスタン(150億円)について、閣議決定・交換公文を締結済み。

日本の新型コロナウイルス感染症対策(途上国支援:概要)

令和3年4月
外務省国際協力局

基本的な考え方

グローバルな人の往来が経済活動を支えている現代社会において、感染症拡大防止対策は、それぞれの国や地域の取組だけでは不十分であり、**国際社会と連携して行うことが重要。**

- **新型コロナ対策のための医療体制(機材を含む)の整備・強化**
 - **中長期的な観点からの強靱な医療・保健システムの構築(過去の日本の支援も活用)**
- ⇒ 我が国への感染症の影響を最小化、海外に展開する日本企業の経済活動の下支え

支援概要

- 感染症拡大は多面的な脅威を伴う**人間の安全保障の危機**。二国間支援や国際機関を通じた支援を活用し、**保健・医療システムの脆弱な国に対する1,700億円(15.4億ドル)を超える医療・保健分野での途上国支援を実施中。**
- **アジア・大洋州を中心とする途上国の経済活動を支えるため、2年間で、最大5,000億円の緊急支援円借款を設立。**
- 本年1月に成立した**令和2年度第三次補正予算(外務省所管分)**に、主に**国際機関を通じた支援として、ワクチン・治療・診断供給支援(247億円)、新型コロナの影響緩和のための途上国支援(812億円)**を計上。国際社会や途上国のニーズを踏まえ、効果的に実施していく。

主な二国間支援

(相手国のニーズに応じたきめ細やかな支援を実施。)

- **感染症対策及び保健・医療システム強化等**
 - ・ 無償資金協力(関連機材の供与等)
 - ・ 技術協力(JICA)(能力構築支援等)
- **途上国の経済活動の維持・活性化・強靱化支援**
 - ・ 緊急支援円借款

相互補完



主な国際機関を通じた支援

(国際機関の専門的知見を生かした支援を実施。)

- **感染症対策及び保健・医療システム強化等**
 - ・ UNICEF、UNDP、UNHCR等
 - (能力構築支援、関連機材の供与等)
- **ワクチン・治療・診断の開発・供給支援**
 - ・ Gavi、グローバルファンド、Unitaid、CEPI等

日本の新型コロナウイルス感染症対策(主な二国間支援)

令和3年4月
外務省国際協力局

感染症対策及び保健・医療システム強化

- **無償資金協力(保健医療機材供与)(480億円)**
 - 保健・医療体制が脆弱な途上国に対し、X線撮影装置、サーモグラフィ、救急車などの医療関連機材等の供与を通じた**保健・医療体制強化のための支援**(海外企業展開支援も含む)
 - 途上国のニーズに迅速に対応し、感染症拡大を防止するため、かつてないスピードで実施。予算額全額について閣議決定済みであり、99か国と交換公文を締結済み。昨年7月末以降、機材が現地に随時到着。
- **JICAによる技術協力(15億円)**
 - 保健・医療体制が脆弱な途上国に対し、**中長期的な能力強化のための保健・医療システム強化や人材育成等の能力構築支援**
 - 45か国の現地カウンターパート機関と連携し、医療従事者の感染防御や施設内感染対策等の研修や検査機器・試薬及び医療従事者のための感染防護資機材供与を含む体制整備支援等を実施(予算額全額を調整済)。

供与された医療関連機材



救急搬送用運送式(ラオス人民民主共和国)、吸引器、聴診器及び血圧計運送式(カンジュラ共和国)



マーシャル諸島共和国に到着した聴診器及び血圧計、複数国に供与される予定のサーモグラフィ

途上国の経済活動の維持・活性化・強靱化支援

- **新型コロナ危機対応緊急支援円借款(2020年4月から2022年3月までの2年間で最大5,000億円)**
 - アジア大洋州を中心とする開発途上国に対して、必要な経済対策等に要する資金を機動的に供給。
 - かつてないスピードで実施。3月26日現在、フィリピン共和国(500億円)、インドネシア共和国(500億円)、バングラデシュ人民共和国(350億円)、インド(500億円)、モルディブ(50億円)、モンゴル(250億円)及びカンボジア(250億円)、パプアニューギニア(300億円)、ソロモン諸島(25億円)、モーリシャス(300億円)、フィジー(100億円)、ウズベキスタン(150億円)について、閣議決定・交換公文を締結済み。